



## 令和3年度 荒川区中学校ソフトテニス春季大会表彰者

4月24日(土)に個人戦、25日(日)に団体戦が行われ、以下の成績により表彰を受けましたのでお知らせいたします。

個人戦	
成績	出場選手
第3位	小川 祐真(3D)・家根 優太(3B)組
第3位	島崎 幸大(3C)・余語 玲羅(3C)組
団体戦	
成績	出場選手
第1位	小川 祐真(3D)・家根 優太(3B)・島崎 幸大(3C)・余語 玲羅(3C)・古橋 創人(3B)・佐々木 翔悟(3D)・林 優樹(3D)・三國 敬吾(2A)

## 保健体育の授業で運動会練習が本格的に開始

保健体育の授業では、以前から少しずつ運動会に向けた練習は行われていましたが、先週からは本格的な練習が開始されました。

本校の運動会では、競技による勝敗だけではなく、むしろ体操・行進やプログラム中の男子マ스ゲーム・女子ダンスなどの集団演技にも重きを置いています。

なぜなら、競い合う中でも、敵味方関係なく集団としていかに美しく・力強く・息の合った表現ができるかに取り組むことにより、互いの特徴を理解し合い自分を集団の動きに同調させ、第三中学校の一員としての自覚が高まるからです。

1年生の中には、ラジオ体操を覚えていない子どももあり、また行進する自分の姿勢を不自然に感じるなど、緊張する保健体育の授業が続いています。しかし、2・3年生と合同で練習し始めると、先輩たちが一生懸命ラジオ体操を演技として表現していることに驚いたり、不自然と感じる姿勢で行進している姿が集団として美しいと感じたりすることにより、第三中学校の運動会を理解していくこととなります。



今年度のスローガンが、運動会実行委員会の中で「一生懸命はかっこいい」と決めました。結果よりも取り組む姿勢に重点をおいた、とてもいいスローガンです。

日常でも、あまり技能のう上で上手ではないけど真面目に部活の練習をしていたり、思ったほどの点数はとれなくても真剣に勉強したりしている姿を軽視したり、笑いの種にしたりする行為は決して許されるものではありません。「前向きに、必死に、一生懸命頑張ろうとしている過程が価値あるものであり、人の心を打つものだ。」

そこに着目したスローガンであり、運動会実行委員会の質の高さを感じました。

## 全校朝礼の話より(自治活動がより活性化されるために)

5月8日(土)6校時に生徒総会が行われました。

その質疑の中で、生徒会本部に対して「昼休みの体育館・校庭開放をしてほしい」という要望がありました。生徒会本部としては、「先生方に案を提出してみます」という回答だったのですが、それに対して「いつまでか」という追質問があり、生徒会本部は「今月中です」と公約をしました。

本校では、昨年度から新型コロナウイルス感染症に伴う様々な影響から、昼休みの体育館や校庭の開放を中止していました。そこには、開放してあげたいけどできない多くの理由があるからであり、生徒会本部が「案を提出する」とは言っても、課題を解決する案を作成するのは大変困難であると考え、5月17日(月)の全校朝礼で、各教室で担任にスライドを展開してもらいながら、以下のような話をしました。

今日はスライドを見てもらいながら「企画・計画を立てるといことは」についてお話します。先日の生徒総会で、昼休みの体育館・校庭開放について要望があり、本部からは「今月中に先生方に提案をする」という発言がありました。これは、ある意味、公約をしたわけであり、生徒会本部は自らを崖っぷちに追いこみ、背水の陣を覚悟で逃げられない状況を作り上げるという、勇気ある言動だったと思います。失敗してもいいのが学校ですが、少しでも、生徒会本部、またこれからの皆さんの生活に役立てばと思い、今後のことについてお話します。

さて、今回は「昼休みの体育館・校庭開放」ですが、企画や計画を立てるといのは、委員会の活動、学年・学級の取組み、班行動計画、運動会実行委員会の活動、個人の学習計画などなど大きい集団から個人に至るまでたくさんありますので、どのような順序で考えるのか、そして大切なことは何かについてよく理解しておいてください。

第一に、何のためなのかをはっきりとさせてください。つまり「なぜ」「どうして」と言われないように、また尋ねられたらすぐに答えられるようにしてください。これを目的と言いますが、今回は生徒会の活動として動くわけですから、そもそも「生徒会本部や専門委員会の活動目標のどれを達成するためなのか、あるいは近づくためなのか」が明らかになっていないと、根拠がないと言われてしまいます。

また、目的がはっきりと示されていないと、組織の場合これを全員が同じように理解していないということになりますから、例えば、何のためにやっているのかについて、それぞれが勝手な解釈になってしまい、問題発生の原因をつくってしまうこととなります。さらに、何かトラブルがあったときに、何のためにやっていたのかという原点に立ち戻れないため解決方法が見いだせず、問題が発生したときに対処することができなくなってしまいます。しなかった、あるいは実施できなかったのかを考えると、重大な課題が見えてくると思います。

令和3年5月17日 全校朝礼 校長講話

### 計画・企画を立てるといことは

今回は「昼休みの体育館・校庭開放」

そのほか

- 委員会の活動
- 学年・学級の取組み
- 班行動計画
- 運動会実行委員会の活動
- 個人の学習計画 などなど

#### 1-1 何のため?(なぜ、どうして)

「目的(めあて・ねらい)」と言う

今回の場合、そもそも

- 生徒会本部や専門委員会の活動目標のどれを達成するためなのか、あるいは近づくためなのか

#### 1-2 何のため?(なぜ、どうして)

組織の場合これを全員が同じように理解していないと、

- ①何のためにやっているのかについて、それぞれが勝手な解釈になってしまう(問題発生の原因をつくってしまう)
- ②何かトラブルがあったときに、何のためだったか立ち戻れないため解決方法が見いだせない(問題が発生したときに対処できない)

第二に、課題です。この場合、課題とは、「計画を進める上で、解決しなければならない問題」と理解してください。その課題に対してその策を十分にとっておく必要があります、それがしっかりしているとトラブル防止策になり、「リスクマネジメントができています」と社会では評価されます。生徒数は約500人いますし、いろんな生徒がいるのは十分に分かっていると思いますが、ほかにも、課題があります。ヒントとしては、なぜ今まで実施しなかった、あるいは実施できなかったのかを考えると、重大な課題が見えてくると思います。

第三に、問題が起きてしまったらどうするかを考えておくことです。「問題は起きないだろう」と考えて実行する組織は脆弱な組織で、社会的信頼を得ることはできません。「このような問題が起きたらこうする」「想定外の問題が起きたら、まずこうしてから、こうやっている間に策を考えることにする」「それでも、同じような問題の発生を止められなかったらこうする」などを考えておくことです。問題が起きてしまったときは、組織はダメージを受けます。それは仕方ありません。しかしそのダメージを最小限にとどめることを、社会ではクライシス・マネジメントと言います。

最後に、皆さんよく思い出してください。あのとき、質問者は最後に「生徒会の皆さんよろしく願います」と言いました。多分、「生徒会本部が今月中に先生方に提案するというのを分かってあげてください」というような意図だったと思います。しかし、「生徒会本部の皆さん」と、あえて言わなかったのは、企画を立てるのは、皆さんの投票で選ばれた生徒会本部がするのですが、仮に、先生方の承認を得て実行することになった場合、生徒会の皆さんにも責任は生じることになりますよ、という意味も込められていたのではないかと思います。ですから、生徒会本部としては、一人一人が自覚できるような、「生徒会本部から生徒会へのインパクトのあるメッセージ」が重要になります。それを「周知する」と言います。

とても遠回しな言い方をしましたが、実は、私は期待しているのです。なぜなら、望ましい姿にできないかと取り組んでいるのですし、私ができなかったことを生徒会の皆さんがやろうとしているのですから、私を越えてもらえればこれほどうれしいことはありませんし、そうやって「社会を構成する一員としての資質」は高まっていくのです。皆さんの健闘を心底から期待しています。

今後、生徒会本部の子どもたちが、様々な課題の解決を図れるしっかりとした企画書を作成し、「昼休みの校庭・体育館開放」の実現に至り、子どもたち全員が企画通りに行動できたとするなら、第三中学校の自治力は更に高い次元に成長するでしょうし、3年生の成果として後輩たちに受け継がれていくものと思われれます。

## 2 どのような課題が考えられるか

計画を進める上で、解決しなければならない問題(課題)がきつとあるはずで、その策を十分にとっておく必要がある(リスクマネジメント)

○500人もいる ○いろいろな生徒がいる  
ほかにも、もっと重大な課題がある

ヒント:なぜ今まで実施しなかった、あるいは実施できなかったのかを考えること

## 3 問題が起きてしまったらどうするか

「問題は起きないだろう」と考えて実行する組織は脆弱(せいじやく)な組織

○このような問題が起きたらこうする  
○想定外の問題が起きたときは、まずこうしてから、こうしている間に策を考える

○問題の発生を止められなかったらこうする  
問題が起きてしまったときのダメージを最小限にとどめる  
(クライシス・マネジメント)

## 4 「生徒会の皆さんよろしく願います」の言葉の重みを考える

「生徒会本部がアクションを起こすことを皆さん理解してくださいね」というつもりで発言したと思う。しかし・・・

○企画は皆さんの投票で選ばれた生徒会本部が立案するかもしれないが、仮に、先生方の承認を得て実行することになった場合、皆さん一人一人にも責任は生じる

求められる「生徒会本部から生徒会へのメッセージ(周知)」

遠回しな言い方をしましたが、実は期待している

私(校長)がなしえなかったことを、生徒会の皆さんが実現することを

社会を構成する一員としての自覚の高まり

以上です。



## 4月のeライブラリの活用状況

教員のID・パスワードでログインすると、教科別や個人別の活用状況を閲覧することができます。個人別の活用状況では「確認テスト 実施回数」「ドリル学習 学習回数」「解説教材・確認問題 学習回数」を把握することができます。

確認テスト:主に単元に1つあり、その単元の習熟の程度を確認するため単元全体を網羅するだけの問題数があります。したがって、実施するにあたっては、ある程度まとまった時間が必要です。

ドリル学習:1回分が1問程度でできているので、問題によっては1分もかからず1回分を終えることができます。

解説教材・確認問題:単元の解説があり、解説ごとに確認の問題があるので、よく理解できなかったときや、まだ学習していない単元に対して予習として取り組むことができます。これも、「確認テスト」同様に、ある程度まとまった時間が必要です。

それぞれの実施回数や学習回数の上位から5番目までの結果は以下の通りです。

確認テスト			ドリル学習			解説教材・確認問題		
順位	学年	実施回数	順位	学年	学習回数	順位	学年	学習回数
1	1	9	1	1	145	1	2	16
2	3	6	2	2	113	2	1	12
3	1	2(4名)	3	1	69	3	3	9
	2	2(1名)	4	1	50	4	1	8(3名)
4	3	1(1名)	5	3	46		2	8(2名)

5月初旬に定期考査があったため試験勉強で活用した子どももいると思いますが、前回の「三中だより」でもお知らせしたとおり、「毎日決まった15分間」と「ドリル学習だったら毎日3つ以上」を目安に継続することが大切であることをご家庭でもお話いただけると幸いです。

## 汐入郵便局前のプランターへの水やり

本校では、昨年度、生徒会本部の活動として、三中で植えた花のプランターを6基、汐入郵便局の前に置かせていただけました。平日は、郵便局の職員の方に世話をさせていただくことになってしまうのですが、休業日は本校の生徒が水やりを行っています。

今年度、1学期の夏休みまでの水やりを、2年生のボランティア活動として当番が決定しましたので、ゴールデンウィーク後からの担当の子どもをお知らせいたします。終業式後は本校に持ち帰り、夏休み期間は本校で水やりをいたしますが、その担当の子どもも決まっています。

5月	8(土)	9(日)	15(土)	16(日)	22(土)	23(日)	29(土)	30(日)
	緒方かれん	下條 櫻奈	張 睿洵	小原 ゆい	矢野 一杏	井上 里菜	田尻 夏葵	宇田 一稀
6月	5(土)	6(日)	12(土)	13(日)	19(土)	20(日)	26(土)	27(日)
	横山 優美	松野ほのみ	清水 百音	飯塚 葵	鈴木 莉椰	山下 千鶴	福田 杏菜	中島 美空
7月	3(土)	4(日)	10(土)	11(日)	17(土)	18(日)	夏休み期間の担当の子どもは後日お知らせいたします。	
	加藤 愛子	高羽 桃葉	朝倉 佳奈	神代 陽菜	朝日 花怜	諸橋 綾奈		

## 夏季総合体育大会に向けて

3年生にとっては最後の大会になるかもしれない「夏季総合体育大会」が始まります。

荒川区では、緊急事態宣言中でも「大会等への出場については、既に日程が決定しているものは出場を可とする」としています。

そこで、本校では子どもの出場にあたりましては、保護者の方のご同意を確認させていただきますのでよろしくお願いいたします。

